

親子聖書日課

NO.1405 2015.8/30-9/5 名前

[日]主を賛美するのは、救われた人だけではありません。海も山も、造り主を賛美します。賛美は、主の御業に感謝して、それに応答することです。どんな時も、「主に向かって喜びの叫びをあげよ」とすると、力が湧いてきて、主の栄光が現れます。

[月]「主は聖なる方」ですから、当然、私達を聖なる人生へと招いています。その人生を自分のものにするためには、罪を告白して、主をあがめることです。そのために、「ひれ伏す」礼拝を献げることです。礼拝から聖なる生活がスタートします。

[火]信仰者が、喜び・感謝・賛美に溢れているのは、造り主なる神が私達を養って万事を益とされることを知っているからです。「主こそ神である」と知ることこそ、幸せな人生を送れます。御言葉と祈りによって、日々、主と交わりを深めましょう。

[水]人の人格と値打ちは、その家族を見ればわかります。よその人には親切でも、家族には冷たいという生き方は祝されません。ダビデは王になった時、家族を疎かにしたことに気づき、悔い改めました。「家にあって無垢な心」を持ちましょう。

[木]悩まない人、気落ちしない人はいませんね。問題は、悩む時、気落ちする時、その嘆きをどこに持っていかず。それを「主の御前に注ぎ出す」人は幸いです。神は「喪失した者の祈りを顧み」その嘆きを受け止め、それに応えて下さいます。

[金]「主の御計らい」の中心は、罪の赦しにあります。「東が西から遠い程」無限に私達の罪を遠ざけて下さったのです。罪は「ことごとく赦されています」から、もう罪の裁きを心配することはありません。主の十字架の赦しに感謝しましょう。



[土]「この一編の中に全宇宙が描かれている驚くべき詩編」と言った方がいます。自然界は、神の御手で造られ、生かされ、満たされています。神の最高の作品である私達にできることは、「命ある限り、神をほめ歌う」ことです。それが毎週の礼拝です。

	聖書	問題	名前	答え
日	詩編 98:1-9	全地よ、主に向かって、何をあげるべきですか		
月	99:1-9	我らの神、主はどのような方ですか。		
火	100:1-5	何を知るべきですか。		
水	101:1-8	私は家にあってどんな心をもって行き来しますか。		
木	102:1-29	主はどんな者の祈りを顧みて下さいますか。		
金	103:1-22	東が西から遠い程、私達の背きの罪をどうして下さいますか。		
土	104:1-35	主はすべてを何によって成し遂げて下さいますか。		
			感想と祈りの課題	